

ID番号
病名（他に考える病名）

@PATIENTID

氏名

@PATIENTNAME 様

症状

@PATIENTWARD

病棟

@PATIENTROOM

号室

担当医師

@USERNAME

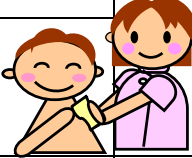
印

担当看護師

担当薬剤師

その他担当者名

@SYSDATE

月日	月日	月日		月日	月日～月日	月日～			
経過	手術前日	入院	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	術後1日目	術後2日目	術後3日目～退院		
目標	不安なく手術に臨める。		手術にいく前の準備		食事が摂取できる。 歩行できる。	創に問題がない。 自分で着替えができる。	創に問題がない。 退院できる。		
検査	□（ ）時から 核医学室で注射と撮影があります。 □入院後～手術前までの間にエコー、手術部位へのマーキングを行います。（手術当日に行う場合もあります）		□パンツ以外の下着を脱いで、病衣に着替えてください。 □化粧やマニキュアを落としてください。 □血栓予防のストッキングを装着します。 □義歯、眼鏡、時計、ヘアピン、指輪を外してください。 □貴重品や鍵は、ご家族の方に渡してください。		点滴酸素吸入  点滴酸素吸入		採血、レントゲンを行います。		
処置	□手術後に使用する胸帯とストッキングのサイズを測ります。				医師の診察後、胸帯をとります。（創部の状態で圧迫を継続することがあります。）午前中に尿の管を抜きます。		創部の確認をします。 排尿の量をみて、量が少なくなったら、創部の管を抜きます。通常、創部の管を抜いたら、翌日退院です。		
治療			がんばりましょう！ 		手術後は創部に管を挿入し排液します。創部は胸帯で圧迫し、医師の指示があるまで 酸素吸入をします。痛みや吐き気があるときは 我慢せずに教えてください。			創部に溜まった液を管から排液します。	
観察	体温、脈拍、血圧測定を行います。		体温、脈拍、血圧測定を行います。 創部に挿入された管の排液や創部の状態を確認します。						
注射			点滴はありません。 手術室で点滴を行います。		手術後は、持続点滴を行います。		点滴を抜きます		
内服	普段内服している薬を確認します。 夕食後に下剤を飲みます。希望時は眠剤を飲むことができます。		朝に内服薬がある場合はお知らせします。		医師の許可があれば、痛み止めや胃のお薬、普段飲んでいたお薬を内服できます。		□朝から痛み止めと胃のお薬を飲みます。 □普段飲んでいたお薬は医師の許可があれば内服できます。		
食事	□夕食後～絶食 □（ ）時から絶食		（ ）時～絶食水		□医師の許可がでてから水を飲むことができます。		□朝から食事がはじまります。  歩くときは排液バックを携帯してください。 管をひっぱらないように、注意してください。 		
行動	入院前と同じように、トイレ・洗面、シャワー浴ができます。		朝起きたら手術に行く前の準備をして下さい。8時30分頃になったら看護師と一緒に歩いて手術室に行きます。手術中、家族の方は病棟ラウンジでお待ちください。		ベッドで寝返りをしたり、座ることができます。うがいや歯磨きなどはベッド上で行います。		尿管を抜いた後は、歩くことができます。お身体を拭きます。		
説明	病棟看護師より手術の説明があります。午後から麻酔科医師と手術室看護師より、手術前の説明があります。				手術後、医師から手術結果をご家族に説明します。		リハビリテーションの説明があります。		
						髪の毛を洗ったり、下半身のシャワー浴ができます。上半身はタオルで拭きます。リハビリテーションは自分のペースで毎日続けて下さい。		 看護師より「退院後の生活」「補整下着」「自己検診方法」などについて説明があります。	

注1）病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。
注2）入院期間については現時点で予想されるものです。
注3）特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等様式の変更が直ちにできない場合、食事の欄に記載してもよい。

特別な栄養管理の必要性

有・無

上記内容について説明を受け同意いたしました

署名：

続柄：

（連絡先）

乳腺外科外来：024-547-1221

みらい棟4階東病棟：024-547-1629

福島県立医科大学附属病院 パス承認番号（No.209-1） 承認月日（平成28年11月2日）